

第1回木曽路ロングトレイル木祖村ルート検討会 議事録

○日 時 令和7年7月30日(水) 18:30~20:10

○場 所 木祖村役場2階大会議室

○参加者 10名(文化財保護審議会3名、木祖村観光協会1名、商工会2名、木曽広域連合1名、実行委員会3名)

○ワークショップの内容についての意見

木曽には中山道という一つの道筋がある。中山道でイメージが湧く日本人の方も多く歩いている。外国人も中山道ということで歩いている。そういった中で木曽路ロングトレイルという大きなネーミングをつけることは、木曽郡に広がったときも、中山道とどう違ってくるのかということになってくる。また、活動を進める中で、中山道とロングトレイルの両方にマイナスになってしまうのでは。ロングトレイルは山脈を中心に交通エリアから離れる部分を歩くことが特色である。中山道は交通面で便利ながら文化的な面も楽しめる特色がある中に、ロングトレイルの要素を提案するとなると、両方の良さを消してしまう懸念がある。中山道を歩きやすくすることに特化することも手ではないかと感じた。

→来年度以降木曽広域連合へ振った際に、本気でロングトレイルを作っていこうということになるのか。部分で迂回ルートを設定したりすることはあると思うが、それをもってロングトレイルとして全部歩くということに繋がるのかが疑問。中山道を忠実に歩きたい人にとっては両方の良さを消してしまうのではということを感じている。

→皆さんからの意見も踏まえて、中山道とそれ以外の要素もあるということを知ってもらえればと思っている。準備会からもご指摘いただいた部分であるので、その点も踏まえて最終的にまとめていきたいと考えている。(実行委員会)

・街道筋で営業している方はの意見は？

→歩いている人が多いという実感があるが、最近では木曽福島まで歩いていきたくて、時間を聞いていく人が何人かいた。国道を歩くのはどういう気持ちなのか。国道を含めたロングトレイルであれば景観を重視するニュアンスからは離れてしまう。トレイン&トレイルで提案していった方が消費につながるのではないかと。ルートとして歩きたい人が多いのかとトレイン&トレイルが良い人が多いのか聞いてみたい。

→何か情報を持ち合わせているか。(実行委員会)

→日本人は知らない道をグイグイ歩く人は少ない。旅行会社で木曽路を歩く日本人のツアーでは中山道を歩いている。春に北分署の近くで座っていた外国人の方に声をかけたら、宮ノ越まで走っていきたくてのことだったので、国道を走らないといけないと伝えたら鳥居峠に戻っていった。外国人にとっては中山道であるかどうかは関係ない。鳥居峠は与川や他と比べても短い。人があまり行かないような場所へ行きたいという思考の人が多く。せっかくトレイルとして取り組むのであれば、中山道の迂回や整備ではなく、そういった箇所に特化して提案することが良いのでは。資料に菅古道という記載があるが、何年前かに地元で整備をしたが現在は荒れてしまっている。ただ、バイパスではなく集落の中を歩く道にお客さんを連れて行ったら喜んでいただけた。やり方はたくさんある。

→中山道の知名度の高さは感じている。木曽路というブランドネームを持っており、アメリカの方と話をしている中では、行ったことがある・聞いたことがあるといった声を聞く。ルート作りや危険個所のこ

とも重要なことだが、プロモーションをする際にリソースが分散してしまうと、無駄になってしまふ。中山道や木曾路の今の知名度をアップしていくような方向性にもしてもらえると、我々も統一のプロモーションとして活用できると思う。

・他に意見は？（実行委員会）

→ロングトレイルということを知った。どのようにして訪日客を中心とする観光客を満足させるかということは大事なことである。藪原宿以外に木祖村にも見てもらいたい部分がたくさんあるのでそちらも歩いてもらえるような方向性が良いのでは。

・この会には村の文化財保護審議会の方にもご参加いただいているがいかがか。（実行委員会）

→飯山にいた経験があり、信越トレイルも歩いた事がある。外国人の姿を多く見ることで歩くという文化が定着しているということを感じている。恥ずかしくないルートになれば良いと感じている。藪原神社は鳥居峠からスタートしており、熊野の神を祀っているので、そういった歴史的な部分も合わせて案内できたり、QRコードを活用して外国人でも分かりやすい案内ができたりすれば良い。天降社で迷っている人も見かけるので、迷わないルートを提案することも大事である。色々教えていただきながら参加させていただきたい。

・古地図をGIS化することで、伊能忠敬がどこを歩いたか分かる。また、吉田については歩行ルート調査で迂回ルート推奨という調査結果も出ているがいかがか。（実行委員会）

→吉田の迂回ルートを歩いている人を時々見かける。国道を通るより歩きやすいと思う。山吹トンネルもトンネルではなく旧道を通って、吉田の迂回ルートから農道を通れば菅橋にも繋がっている。ルートは様々な形があっても良いと思う。道ということであれば藪原から姥神へ超えるルートもある。

・魅力アップにつなげるには、何が良いかということは今後議論していきたい。山登りは達成感があるので、各山で山バッジを買う。街道歩きでも同じことがあっても良いのでは。木曾路の強みはJRが通っていることである。木曾町町長が外国人からアクセスが良いという話をしていた。アクセスが良ければ、今日はここまで、次回はここからといった形でリピートに繋がる可能性もあると思うので、何回も足を運んでもらう要素を作っていければ良いと感じている。（実行委員会）

・この事業は木曾郡全体で動きがあるわけではなく木祖村のみで実施している。

パイロット的な事業として位置付けて、ここで議論したことを木曾郡全体の流れに結び付けてほしいという願いがあるので、様々な意見があっても良いと思う。（実行委員会）

・最終的にロングトレイルのルートができるということではないか。

→そういうことではなく、意見書を完成させることがゴールである。推奨ルートができていなくても、中山道は今まで通りが良いという結果になればそれはそれで良いと考えている。（実行委員会）

→その後の発展に関して広域連合が行っていくということで良いか。

→木祖村だけで進めても他と歩調が合わない。本来であれば信越トレイルのように取りまとめる団体があると良いが。（実行委員会）

→もしも木祖村にロングトレイルができたら、どのように活用できるかといったビジョンの話をしていくということで良いか。

→その通りである。ビジョンをまとめられれば成功である。（実行委員会）

→集まって話すのであれば、身になる話ができれば良い。先ほども話があったが中山道との区別や山の道に特化させるでも良いが、村内のお店を使ってもらえないなどの課題も出てくるので、イメージしていることが、ふわふわしている状態なので、事務局でも話をしてから進めた方が良い。

○木曽路歩行ルート調査についての意見

- ・準備会にて、森林鉄道の廃線跡を探索するのはどうかという意見や看板を改善した方が良いという意見が出た。看板については木曽広域連合からも紹介いただけないか。(実行委員会)
- 資料の中に、みちのく潮風トレイルの例を付けている。統一デザインによる木製の杭などお金をかけるのではなく、簡易的に道迷いを防ぐものをイメージしている。具体的になってきたら改めて説明させていただく。
- ・木曽路歩行ルート調査事業結果について聞きたい。吉田バス停のところに藪原駅の方向を示す看板があり、その方向に向かうと村道菅線にぶつかる場所が迷いやすく、菅に入ってしまう人がいると聞いている。以前は看板があったが撤去されたとのことだが、その後の進捗はいかがか。
- 今の看板については、中部北陸自然歩道のルート上の看板かと思われる。中部北陸自然歩道のルートが、先ほど話が出た吉田の農道についても中部北陸自然歩道となっている。(実行委員会)
- ということであれば、迷いやすい箇所への看板の設置は必要ではないか。
- この事業に関係なく、整備が必要な箇所はたくさんある。菅橋が行き止まりのときにもすれ違う外国人とすれ違ったり、鳥居峠でも北分署付近で迷っている人を見かける。すぐに直してほしい箇所もあるので吸い上げが必要ではないか。
- 吉田の迂回ルートについては、先日追加で踏査を実施して、現地に看板がなかった。看板があった方が良いという意見も出た。
- 先ほどから話が出ている、村道菅線にぶつかる部分については、看板の根元が腐食しており、歩く人も少ないということで撤去した。コロナ禍を経てインバウンドの状況等も急激に変化しているので、観光地として案内看板などの整備が必要な箇所があれば、必要に応じて実施していくので、ご意見をお寄せいただきたい。(実行委員会)
- ・観光連盟で発行している「中山道ウォーキングマップ」のルートで、県道26号のガード下を通るルートが示されているが、藪原から宮ノ越へ向かう際に、歩道のない場所を歩く人がいて危ないので、高架下を通るようにした方が良い。
- ・昨年の調査結果を検証することも可能であるので、次回で突き詰めていきたいと思う。(実行委員会)

○補足事項

- ・次回、日本遺産木曽路の活動内容についてクローズアップをしたい。(実行委員会)
- ・資料について補足させていただく。鳥居峠の利用者数については、藪原駅の駅員さんに駅の営業時間内でカウントしていただいております。駅を利用する方でリュックを背負っているなどハイキングをする装備をしている方を鳥居峠の利用者と定義している。資料には細かい数字が載っているが、県には数字をまとめて報告しているため、数値の取り扱いには注意をお願いしたい。(実行委員会)